

個人献金中心の政治の実現へ！

ワンコイン維新クラブに 参加しませんか？

今後、政治活動にかかわる資金は個人献金中心に切り替えていくべきです。政治を国民の手に取り戻す新しい政治参加の「北九州スタイル」として取り組み、全国に発信したいと考えます。具体的には、きいたかしの活動を支えるため、個人個人がワンコイン 500円を毎月会費として納めていただき、特定のどこからも、誰からも、しがらみなく自由な政治活動をできることを目指します。

詳しくは、きいたかし後援会事務所（093-941-7767）まで。

参議院選挙福岡県選挙区で 民主党の推薦を決定！

堤かなめさんを 応援します。

1960年（昭和35年）生まれ
栄美幼稚園（北九州市小倉北区）、太宰府小、牛頸小、大野南小、大野中、筑紫丘高（31回卒）、九州大卒業。
KDD国際電信電話株式会社に勤務。九州大学院で社会学を学ぶ。九州国際大に勤務。スウェーデン、カロリンスカ研究所客員研究員、イギリス、サリー・ローハンプトン大客員教授、九州女子大教授などを歴任。
趣味は身体を動かすこと。中学・高校でバスケット部。



無所属、しがらみのない
立場から、古い政治の刷新を目指してがんばる
「堤かなめ」さん。

衆議院議員 きいたかし(城井 崇) 36歳のプロフィール

1973年（昭和48年）北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高を卒業。北九州予備校で2浪後、京都大学へ。同大学卒業後、松下政経塾に入塾。卒塾後、前原誠司氏（民主党元代表）秘書などを経て、衆院選に初挑戦。比例九州にて初当選。衆院文部科学委員などを務めた。05年衆院選で60,662票をいただくも惜敗。4年間の政治浪人を経て、09年衆院選に再挑戦、123,312票をいただき、小選挙区当選で国政復帰させていただく。現在、北九州市門司区・小倉北区・小倉南区で地元の衆議院議員として謙虚にかつ大胆に活動中！
好きな食べ物：ラーメン 気になること：絵本選び 家族：妻、長女、長男



きいたかし後援会事務所

●北九州事務所
〒802-0072 北九州市小倉北区東篠崎1-4-1-201
TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535

●東京事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館438号室
TEL.03-3508-7138 FAX.03-3508-3438

▼きいたかしのブログをご覧ください

きいたかしブログ 検索
きいたかしのブログはホームページから入れます
●ホームページ <http://www.kiitaka.net/>
●メール smile@kiitaka.net



きいたかしの携帯ブログです

衆議院議員

このチラシを配って
下さる方を募集中！



きいたかし

城井 崇レポート2010.4-5

事業仕分け調査、特別会計検証に参加

税金のムダ見直しに全力！

皆様こんにちは。衆議院議員のきいたかしです。3月末に本年度予算を成立させていただいてから後、私は事業仕分けの第2弾（独立行政法人、公益法人等が対象）に向けて1期生議員を中心に結成された仕分け調査員の事務局、「離れすぎ焼き、母屋でおかゆ」で知られる特別会計の「原則ゼロベース見直し」を行う民主党特別会計検証チームで「国債整理基金特別会計担当主査」といった役割を拝命し、税金のムダづかいの洗い出しと見直しに渾身の力を込めて取り組んでいます。



枝野大臣、蓮舫仕分け人らと事業仕分け調査員報告会で対象を選ぶ評価者を務める。

公益法人にもあったムダづかい
仕分け調査員95名とともに目指したのは、財団法人や社団法人などのいわゆる公益法人の中に、事業仕分けの対象とすべきものがあるかどうかを調べるということでした。公益法人は我が国に約3,000法人あります。このうち、国からの天下りがいる法人が約

1,200法人あります。ここを集中的に調べました。400法人弱は仕分け人の皆さんが調べ、残りにあやしい法人も含めて約900法人を仕分け調査員の調査対象としました。公開資料のコピー提供しているだけなのに、1枚50円ものコピー代をせしめている天下り官僚を食わせる法人、投じられた国費を再委託費と役員報酬にのみ使い仕事は民間企業に100%丸投げ、省庁のホームページに載っている情報の一部をわざわざ調べさせるムダをやっている法人など、約100法人に極めて問題ありという報告をいたしました。5月の事業仕分け第2弾後半戦で、公益法人等仕分けも行います。仲間と手分けして税金のムダづかい根絶を徹底します。

特別会計に潜む埋蔵金はまだある
特別会計検証チームの作業に携わって感じているのは、見直すべき部分は潜んでいるということです。特に、特別会計が抱えている剰余金。積立金や基金の形で積み立てられている金額の中には、不要な部分もあると見えています。私自身は、財源確保の私案として特別会計全体の剰余金の中の「不用額」（平成20年度で約11兆円）を国債償還に充て、その同額を一般会計から繰り入れを止めることで一般会計に約11兆円の新規財源、増税なき増収としての財源確保を図ることができるという提案をしています。こうした案も含め、予算全体へのシーリングや消費税以外の税項目の見直し（資産課税や累進課税の見直し）などを行うことで、石にかじりついてでも、来年度以降の政策財源の確保を図るべく頑張ります。

きいたかし後援会事務所
〒802-0072 福岡県北九州市小倉
北区東篠崎1-4-1-201
TEL: 093-941-7767
FAX: 093-941-5535
メール: smile@kiitaka.net



ブログのQRコード

ブログでも活動報告中！
「きいたかしブログ」で検索

きいたかしウェブサイトは
<http://www.kiitaka.net>

現場の声を聞き、改める！

去る4月16日、私は衆院文部科学委員会において一般質疑、特に全国学力テスト入札、発掘調査の費用負担、不登校対策に対する質問の機会をいただきました。

1社応札、高コストのチェックをまず、全国学力テスト。民間委託のための入札において、以下のような問題点があることを指摘し改善を求めました。

- ・特定の企業の見積もりを丸のみし、5億円も割高な予定価格を決めていた。
- ・この特定企業は、数年にわたり1社応札だった。また新規参入希望の企業を実質排除する対応を文部科学省が行っていた。

発掘調査のルール運用、再調査を文化庁所管の遺跡の発掘調査についても質問しました。これは多くの不動産業者が長年困っている問題だと現場で聞いています。発掘費用への補助など、運用の徹底と改善を求めました。

欠席児童の状況把握を徹底せよ
最後に不登校対策です。問題化されて久し



文部科学委員会で質疑に立つ城井代議士ですが、小中学校においては、全児童数は漸減しているものの、不登校児童数はこの5年間だけでも小学校で23,000人前後、中学校で10万人前後から減っていません。これまでの施策では不登校の減少どころか、相対的には事実上の横ばいないしは増加という状況です。不登校児童数の減少に向けた数値目標の設定も含む、抜本的な不登校対策の見直しを行う必要がある旨具体的に政策提言を申し上げました。

今後も現場の声を聞き、政治を改めます。

NHK「クローズアップ現代」

(10.4.22放送)に きいたかし代議士出演。



写真上はきいたかし代議士、
写真右は細野副幹事長



「“民意”をどうつかむのか」をテーマに民主党と自民党を追ったNHK番組に、細野豪志民主党副幹事長とともに取り組んでいる政策財源の確保作業の様子が放送されました。

写真で見るとかしの活動報告(3~4月)



民主党港湾振興議員連盟総会。



第25回維新海峡ウォークのお手伝い。



小倉北区・今町校区での国政報告会。



民主党福岡県第10区総支部総会。



きいたかし会総会を開催。



きいたかしを支える会総会を開催。

平成22年度国の予算決定！

仲間と努力した成果の一部をご紹介します。

アジアを見据えた物流インフラの整備を急ぎます

経済対策、関門航路の安全安心、
北九州空港の滑走路延伸へ前進！ **約220億円**
(昨年度は約78億円)

新成長分野、環境産業をリードする北九州市へ前進します

全国で4か所だけのスマートグリッド実証実験地域の
指定を勝ち取ることができました。世界の環境首都へ！

地元北九州市と連携して経済の元気を作り出します！